

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

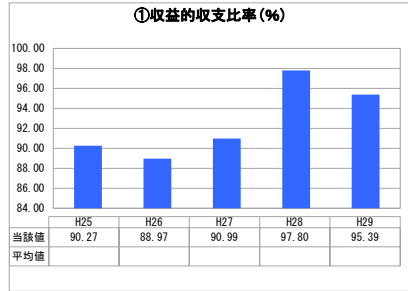
岩手県 宮古市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.18	100.79	3.024

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
54,159	1,259.15	43.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
631	0.16	3,943.75

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



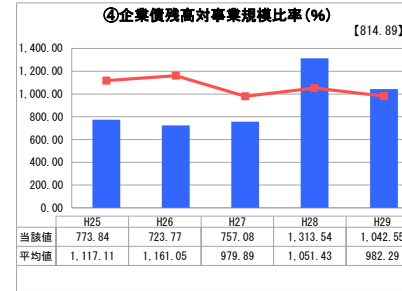
「単年度の収支」



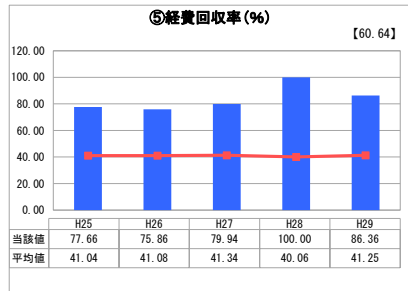
「累積欠損」



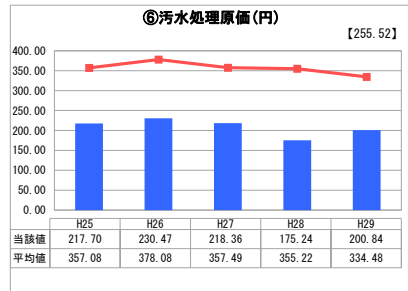
「支払能力」



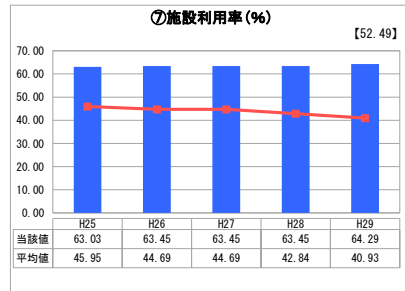
「債務残高」



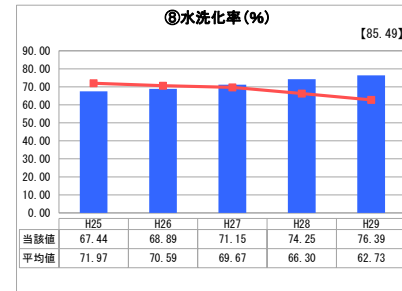
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

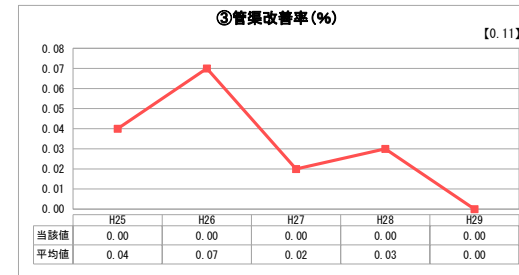
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率  
費用に対する収益の割合を表す指標です。収益不足を示す100%未満となっていますので、引き続き水洗化の普及を図りながら使用料収入の増加に努める必要があります。
- ②累積欠損金比率  
該当数値なし
- ③流動比率  
該当数値なし
- ④企業債残高対事業規模比率  
使用料収入に対する企業債残高の割合を表す指標です。施設整備は完了していますが、企業債残高は減少してきていますが、H28以降は、類似団体より高い割合となっています。
- ⑤経費回収率  
経費をどの程度使用料収入で賄えているかを表した指標です。100%未満となっていますが、類似団体より高い割合で経費を回収しています。
- ⑥汚水処理原価  
汚水1㎡当たりの処理費用を表す指標です。類似団体より低く抑えられています。
- ⑦施設利用率  
施設の処理能力に対する処理水量を表す指標で、施設の利用状況等を表す指標です。類似団体より高い割合で施設を利用しています。
- ⑧水洗化率  
水洗便所を設置して汚水処理をしている人口の割合を表した指標です。割合は年々上昇し、H27からは類似団体よりやや高い割合となりましたが、引き続き水洗化の普及に努める必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率  
下水道管を更新した割合を表す指標です。H12から事業に着手しており、更新が必要な老朽化した下水道管はまだありません。

## 全体総括

使用料収入だけでは維持管理費等を賄えないため、一般会計からの繰入金を充てていますが、企業債残高対事業規模比率を除いた経費回収率、汚水処理原価、施設利用率、水洗化率の各指標とも類似団体より良好な状況です。企業債残高対事業規模比率が類似団体よりやや高くなっていますが、施設整備は完了していますので、企業債残高は徐々に減少していきます。今後も引き続き水洗化の普及を図りながら、使用料収入の増加に努める必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。